

平成 29 年 10 月 11 日
株式会社 不動テトラ

地盤改良技術開発研究用「試験フィールド」を整備

— 工法開発のスピードアップを図り 市場ニーズへの迅速な対応をめざす —

株式会社不動テトラ（社長 竹原 有ニ）は、地盤改良技術の開発スピードアップを図ることを目的に、土浦市にある自社研究所敷地内に新たに「多目的試験フィールド」を整備することを決め、年内完成を目標に 9 月 13 日着工、起工式が行われました。

不動テトラは多種多様な 50 種類以上の地盤改良工法を保有し、あらゆる地盤の課題解決に取り組んでおります。新工法の開発においては、対象の工法が所定の改良効果・施工性能を有することを確認するため、現場実験を必要としますが、必要な地盤条件を有する試験場所の確保に時間を要する場合があります、適切な地盤条件で迅速に実験を実施できる環境を整える必要がありました。

このたび、自社研究所内に試験フィールドを整備することにより、その都度条件に合った土質の土を入れ替えて地盤を作ることが可能となり、一定した地盤条件での実験による効果検証の確実性向上、試験工程の制約がなくなることによる開発のスピードアップが期待できます。

試験フィールドは多種多様な地盤改良工法に対応できる「多目的フィールド」となっており、年内完成を目標に着工。完成後は直ちに実験に入り、今年度内に 3 件の試験を予定しています。

不動テトラは、本フィールドを最大限に活用し、市場のニーズに迅速に対応した新工法を提供するため、今後も技術開発に力を尽くしてまいります。

○試験フィールド所在地 茨城県土浦市東中貫町 2-7 不動テトラ総合技術研究所内

○試験フィールド設備 およそ 2,000m²
土槽(縦 12m×横 24m×深 8m) 体積約 2,300m³
資機材、プラントヤード、残土置場 等

■ お問い合わせ先

本件についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社不動テトラ CSR 推進部 TEL 03-5644-8575

■ 多目的試験フィールド（鋼矢板打設状況）



■ 試験イメージ



砂杭系(改良効果確認)

